

第10回 京都府医師会 医療安全シンポジウム

なぜ、すれ違う

患者の立場×医者の立場

～医療機関の現場より 事例紹介～



協議テーマ

- ①救急の現場から
- ②薬の効果と副作用
- ③手術の説明と実際

※テーマについては、追加・変更となる場合がございますので、ご了承ください。

「病気を治したい」患者と医者の気持ちは同じです。同じ目的のために協力する両者の間で対立が生まれるのは、なぜでしょうか。患者には患者の、医者には医者の言い分があります。今回のシンポジウムでは、医療機関で実際に起こり得る事例を紹介し、それぞれの立場の違いについて、みなさまの意見も伺いながら、考えてみたいと思います。

パネリスト

- 中谷内 一也氏(同志社大学心理学部 教授)
- 松村 由美氏(京都大学大学院医学研究科検査部 准教授)
- 山口 育子氏(ささえあい医療人権センター-COML 理事長)
- 齋藤 嘉夫氏(がん患者サロンうずら 世話人)
- 橋本 京三氏(京都府医師会 理事)

座長

- 依田 建吾氏(医療安全対策委員会 委員長)
- 澤 美彦氏(医療安全対策委員会 副委員長) [順不同]

日時

平成25年 **2月17日(日)**
午後2時～4時30分

会場

京都府医師会館 3F 310会議室
〒604-8585 京都市中京区西ノ京梅尾町3-14

ご来館は公共交通機関をご利用ください。

〈電車でご来館の場合〉

- JR「二条」駅東ロータリー南隣
- 地下鉄東西線「二条」駅よりJR連絡通路出口よりJR「二条」駅東側出口經由南へすぐ

当日は自由参加になっておりますので直接会場にお越しください。
多数のご参加をお待ちしております。



先着300人

入場無料

主催：社団法人京都府医師会 TEL.075-354-6104